

## 2013年産タイ産ジンジャー市況



### 価格は昨年対比30%以上高騰予想

タイではジンジャーは主に北部地域で栽培されており、ドライジンジャーの原料は繊維が少なく、辛味成分の少ない収穫直後のものが使用されます。

ジンジャーの生育には多くの水分が必要とされるため、タイでは12月から2月にかけて種付けを行ない、6月からの雨季に生育期を迎え、8月頃から順次収穫が始まります。

現在、タイでは栽培に手間の掛からないトウモロコシ等へ転作を行なうジンジャー農家も増えてきており、パッカー独自の調査によると、2013年産ジンジャーの収穫量は昨年の約15万トンに対し、約30～35%減産の10万トン前後になるのではないかとの見解です。

また、昨年末より急激に進行している円安や、中東からの生鮮ジンジャーの需要の増加の影響を受け、2013年産ドライジンジャーの価格は昨年対比30%以上高騰が予想されます。